

科目名	あそび実践演習Ⅱ(図画工作) 「児童文化作品」		担当教員	大 竹 麗 子		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし	単位数 授業形態	1 単位	演習	開講時期	集中
講義概要 ■到達目標■ 保育者のひとりひとりが美しくやさしい言葉で、子ども達の心に楽しいおはなしやパネルシアター、人形あそび、手あそび、お手玉あそび等を届けられることができるようになることを目的とする。保育現場の最大環境要素である保育者の内的文化レベルと実践力を高める。 ■授業のテーマ及び概要■ 絵本以外の児童文化作品を届けられる実践力をつける。そのために講師の演じる幅広い作品にふれ聞き手(届けられる立場)としての体験を蓄積する。そして理論ではなく実際に作品を作り動かし、講師にアドバイスを受け、その作品を「文化」と言えるレベルまで高め、現場でのそれぞれの子ども達の年齢や状況に合わせて届ける事ができるキャパシティーと幅広いレパートリーを獲得する。 ■授業計画■ 第1回 手あそびを知る。お話を聞く。 第2回 手袋人形を見る。手袋人形を作る。 第3回 手袋人形を演じる方法を学ぶ。 第4回 手あそびを知る。お話を聞く。 第5回 手あそびを知る。お話を聞く。他の手袋人形を見る。 第6回 手あそび・言葉あそびを知る。物語を聞く。 第7回 お手玉あそびを楽しむ。 第8回 紙芝居を見る。紙芝居の届け方を学ぶ。 第9回 手あそびを知る。お話を聞く。パネルシアターを見る。 第10回 パネルシアターを作る。 第11回 パネルシアターの演じ方を学ぶ。 第12回 他のパネルシアターを見る。 第13回 手あそびを知る。お話を聞く。ペープサートを作る。 第14回 ペープサート、紙芝居の演じ方を学ぶ。 第15回 総合質問他。4日間のまとめ。 ■準備学習■ 作品製作への思いを込めて製作に必要な用具をきちんと用意する。 ■評価方法■ 授業での取り組み状況(聞き手として集中して聞くことができたか、届け方を一生懸命学んだか) — 80% 製作物(心込めて作品を製作したか) — 10% 発表(楽しんで発表できたか) — 10%						
参考文献	特になし	特記事項	教材費：6千円 (手袋人形・パネルシアター・ペープサート・紙芝居の材料・おはなしの本、他) どれも皆生涯の財産になるしっかりした作品です。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択	幼	教科に関する科目			
		保	保育の表現技術			